



連携API概要

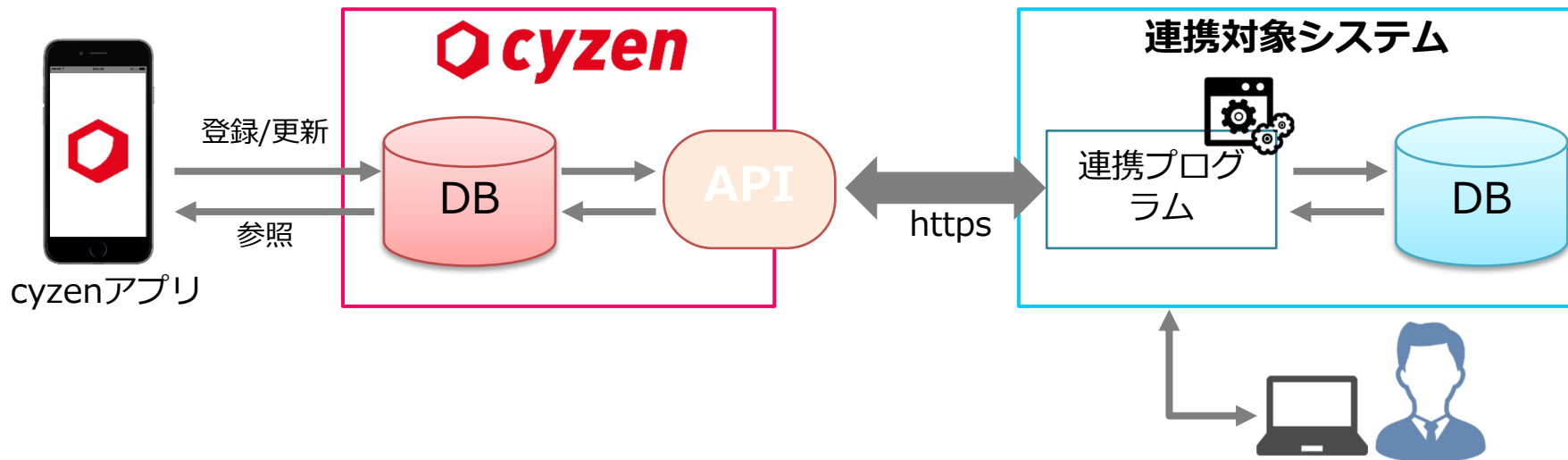
2023年1月
レッドフォックス株式会社

連携API概要

cyzen API（以下、連携API）は、報告書の情報やステータス報告の取得、スポットの登録など、外部のプログラム（以下、連携プログラム）からcyzenを利用するためのインターフェースです。

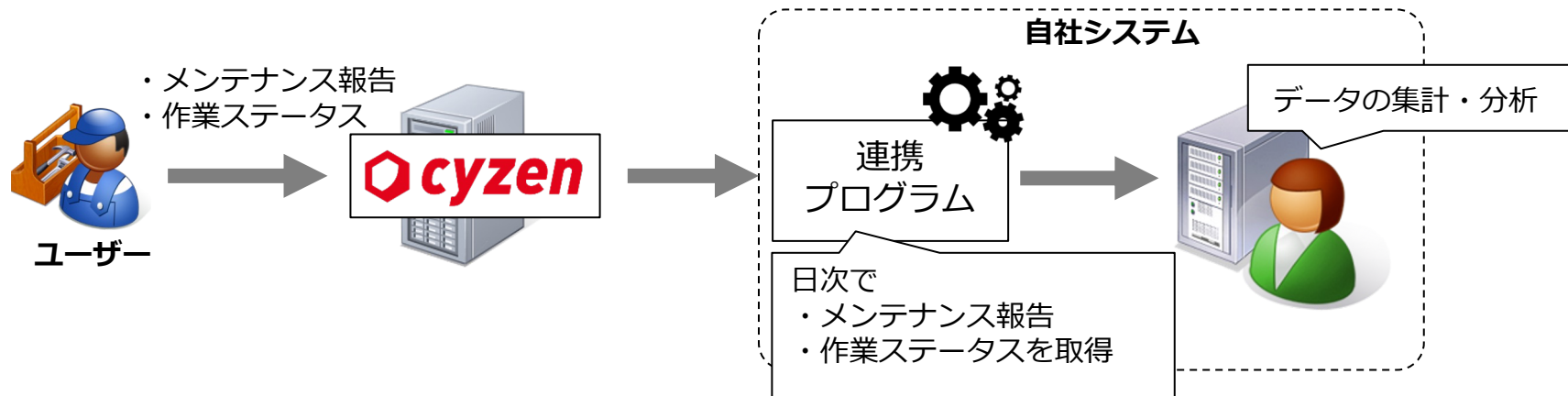
連携APIを利用したプログラムを開発することにより、報告書データの集計、顧客データの自動インポート、スケジュールのエクスポートといったことが可能になります。

利用イメージ

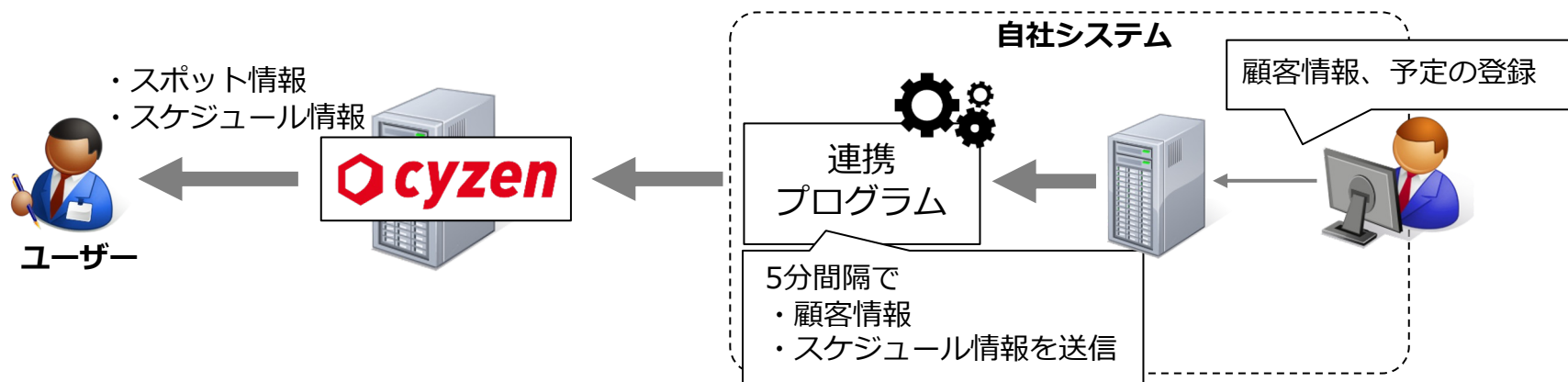


連携API活用例

▶ cyzen から自社システムにデータをインポートする



▶ 自社システムからcyzen にデータをインポートする



連携APIの内容例 -1

以下、連携APIでのcyzen利用例です。

対象オブジェクト	取得	登録(追加)	更新	削除
履歴情報(打刻情報)	○	-	-	-
履歴情報(自動記録位置情報)	○	-	-	-
ユーザーごとの最新位置 (打刻+自動記録)	○	-	-	-
スポット情報	○	○	○	○
スポット顧客担当者	○	○	○	○
スポット自社担当者	○	○	-	○
スポットとスポットタグの関連づけ	○	○	○	○
スポットタグ情報	○	-	-	-
グループ情報	○	○	○	○
ユーザー情報	○	○	○	○
ユーザー所属情報	○	○	○	○

連携APIの内容例 -2

対象オブジェクト	取得	登録(追加)	更新	削除
ステータス情報	○	-	-	-
行動種別情報	○	-	-	-
報告書定義情報	○	-	-	-
報告書	○	-	-	-
画像	○	-	-	-
予定情報	○	○	○	○
予定のメンバー	○	○	○	○
交通費情報	○	-	-	-
スポット写真情報	○	-	-	○
スポット写真タグ情報	○	-	-	○
スポット仕分け構造情報	○	-	○	-
スポット仕分け構造定義情報	○	-	-	-
スポット写真情報の写真ごとの情報 (メタデータ)	○	-	○	-

連携APIの利用について

連携APIはREST構成です。

認可方式

連携API利用契約後に発行されるアクセストークンを使用します。

取得出来るデータ

JSONのみになります。

呼び出し制限

連携APIの呼び出しには、一定の制限（数、期間）があります。
制限数を使い切ってしまった場合はAPIの呼び出しが出来なくなりますが、
一定時間経過後、制限数がリセットされます。

連携APIの呼び出しについて

リクエストとレスポンス

連携APIは、規定のURLに対してhttpsとアクセストークンを使うことで利用することができます。

取得条件や登録内容はリクエストパラメータで指定します。

連携APIからのレスポンスは全てJSON形式となります。

呼び出しの制限

連携APIの呼び出しには、以下の制限があります。

制限はアプリケーション（事前登録した連携プログラム）単位に適用されます。

取得データ件数

1リクエストあたり **200件** まで

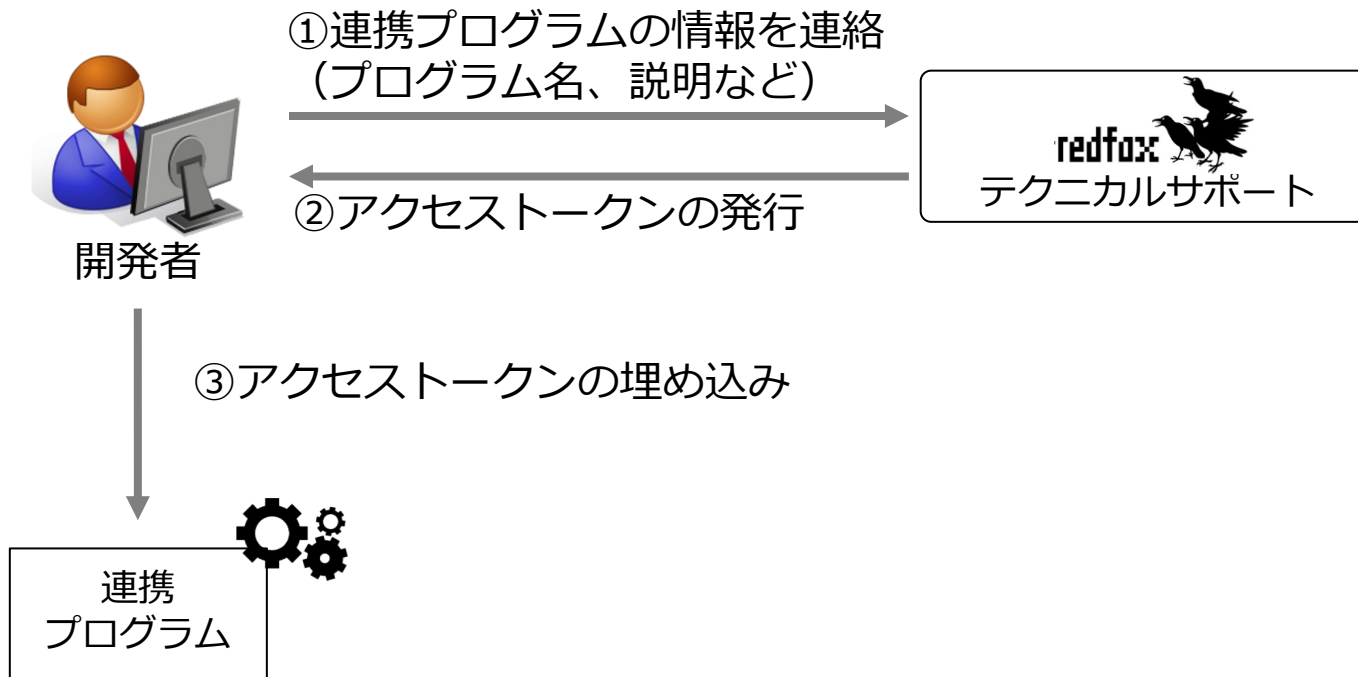
アクセス頻度

1アクセストークンあたり、**秒間5回** まで

アクセストークンの発行

連携APIを利用するプログラムに対してアクセストークンを発行します。

利用イメージ

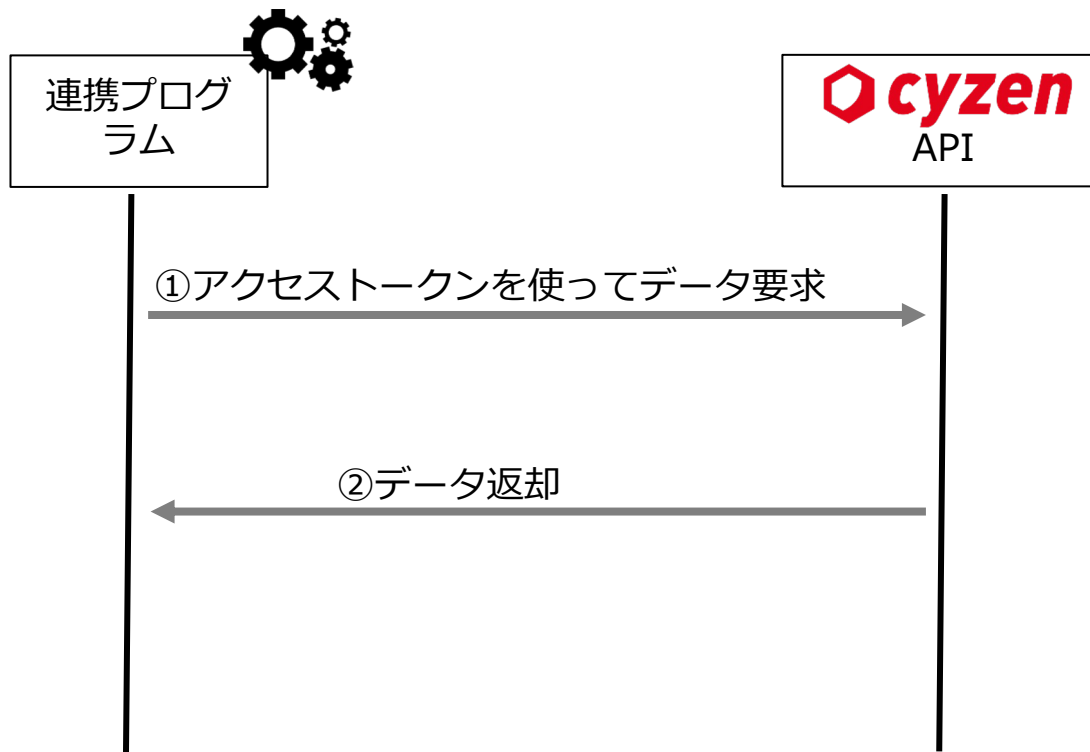


アクセスの流れ

発行されたアクセストークンを使用して認可確認を行います。

※通常のID・パスワードと同様に、管理には十分ご注意ください

認証とアクセスの流れ



開発ライセンス体系

cyzen デベロッパーアカウント

料金

初期 150,000円

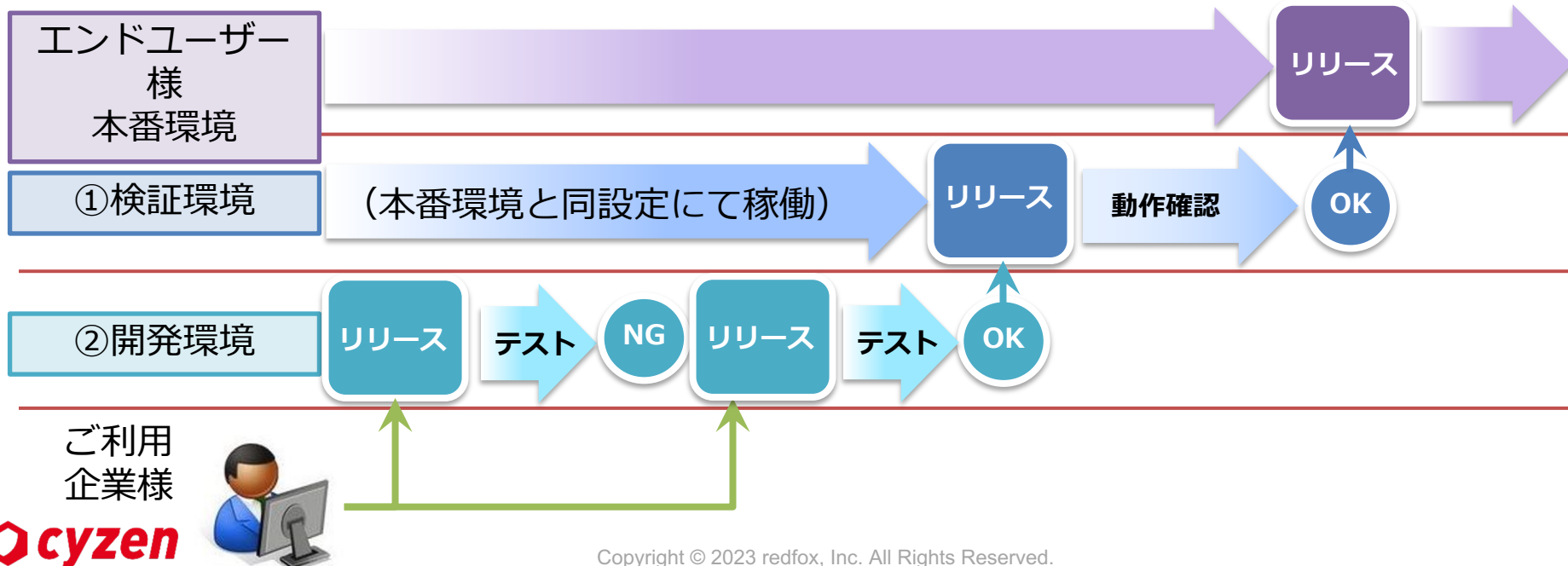
ライセンス 150,000円（3ヶ月一括）または 500,000円（1年一括）

提供内容

APIリファレンスを初回、および更新都度提供

検証環境アカウント(下記①) 10ID

開発環境アカウント(下記②) 10ID





サービス提供元

レッドフォックス株式会社

東京都中央区銀座三丁目4番1号 大倉別館5階

<https://www.cyzen.cloud>

レッドフォックス 株式会社 カスタマーサポート

.Email:cyzen-support@redfox.co.jp

cyzenはレッドフォックス株式会社の商標です。